

業種	金融業
活用分野	ネットバンキング
テクノロジー	ウェアラブル端末

邦銀初、Apple Watchでバンキングを実現

みずほ銀行は、2015年6月に日本の銀行として初めて、インターネットバンキングを「Apple Watch」に対応させた。さらに英語対応もスタートした。

同行は、スマートフォンが大きく普及する前の2010年11月より、スマートフォンによるバンキングサービスを開始し、モバイル分野で先駆的な銀行として評価を受けている。

モバイルバンキングの利用者は100万

人を超え、年間2000万件以上のアクセスを有している。

スマートフォン対応により、いつでもどこでも銀行取引を可能としたが、さらにウェアラブル対応によって、日常生活への浸透が図られることとなった。

Apple Watch対応においてはスタートアップ企業であるMoneySmart社と連携し、ユーザインターフェースの向上に注力。アイコンのタップのみで簡便かつセキュア

に残高照会ができる簡易認証を導入し、まるで時刻を確認するように、気になったタイミングでの口座の残高照会を可能にした。サービス面では、入出金明細を長期保管するアプリ通帳、入出金の発生時に自動で通知するプッシュ機能を実現し、利便性を高めた。

来店頻度削減による店頭事務負担を削減しつつ、顧客接点機会の増加に貢献している。

みずほ銀行では、先進的な取り組みを継続し、例えば音声によるバンキングサービスなど利便性を高めるサービス開発を進めていく計画だ。

また、新技術、スタートアップ企業を積極的に活用し、顧客視点での金融サービスの提案、銀行取引の日常化の実現を図っていくとのことだ。

図 スマートフォン・ウェアラブルバンキング(みずほダイレクトアプリの場合)

